

既存ストックの活用による共同居住型住宅の居住水準に関する検討会

第2回 議事概要

主なご意見は以下のとおり。

○住戸専用部(専用居室)

- ・居住者ニーズや経営上の観点を踏まえると、専用居室の面積を一律に決めてよいのか。
- ・4.5畳は収納やこども室としての使用方法も考えられる。

○共用部

- ・共用設備については、5名につき1ヶ所とするのは概ね妥当だが、複数人同時使用できるか等の使い勝手を考慮したものが望ましい。
- ・既存住宅を活用することを踏まえる必要はあるが、トイレ等の共用設備はワンフロアに1ヶ所程度あるのが望ましい。
- ・持続的に供給を拡大するためには、共同空間の充実が必要であり、共用部に「ゆとり」をもった案も検討すべき。

○既存ストック

- ・今あるものをそのまま貸したいというのがオーナーの基本的な認識。

○その他

- ・継続的な居住のためには、共同生活への適応や既入居者との十分なマッチングが必要。
- ・1つの住宅の中で入居者の属性が混在すれば運営が難しくなる。

以上